

大漁の予感! 河今定置網に大マグロ!

河今定置網組合（寺下貢組合長）の漁場に仕掛けた網に5月11日朝、体長約2.3mの本マグロが入りました。漁師たちは、マグロの身が弱らないようにと、すぐ船に引き上げその場でマグロの腹を割り氷を詰めて港へ運びました。網に入ったマグロは、重さ約250kgとマグロの中では大物。漁師さんたちが、マグロを傷つけないように丁寧にそして手早く氷の入った水槽に移すと、そのあと富山県高岡市にある市場へ運ばれました。「マグロは毎年5、6本は入るけど、こんなに大きいのは50年ぶりぐらいじゃないかな。今年は豊漁が期待できそうだ」と寺下組合長は意気揚々と話し、港は活気づいていました。



頑張ります 全国大会出場激励



福井県知事杯争奪ゲートボール大会で優勝し、県代表として5月28日からの全国選抜ゲートボール大会シニアクラスに出場する南条女子チームの激励会が行われました。

「南越前町となって初の全国大会出場チーム。力を発揮してください」と、澤崎教育委員会事務局長から激励を受け「ゲートボールはチームワークが一番。日頃の練習の成果が発揮できるよう頑張ります」と代表の今村喜美子さん（協本）。みんなで気を抜くことなく気持ちをひとつにして頑張ろうねと志気を高め合っていました。

まちの話題



環境美化にひと役 南条商工会女性部が庭作り

5月18日、南条商工会女性部（寺尾美重子部長）が環境美化活動に取り組み、JR南条駅改札口付近にミニ日本庭園を作りました。部員らは、荒れていた駅構内の庭園でつつじの枝の剪定や草取りのあと、紫色の花が咲くフイリヤブランや薄青色のブルーデージーなどを植えました。また、白玉砂利を敷き詰めた花壇にパンダスミレを植えたオブジェが置かれると、駅はすっかり見違えました。

部員らは「少しでもみなさんの癒しの空間になってくれれば」と笑顔で話していました。



みんなで登って気分爽快 町民登山 西方ヶ岳・蝶螺ヶ岳

春の野山を楽しむ町民登山が4月29日行われ、参加者38人が山頂を目指しました。

敦賀市の常宮神社から、西方ヶ岳の山頂を目指し登山を開始し、2時間10分で山頂につきました。西方ヶ岳は敦賀半島の最高峰で、花崗岩の風化により山肌が白くアルペン的な風貌がある山です。当日は山頂に霧がかかり残念ながら眺めは今一つでしたが、参加した人たちは「中級者向けということで大変でしたが、たいへん楽しめました」と話し、帰りは蝶螺ヶ岳を経由して下山しました。



山里で食べる味は格別! リトリートたくらで山菜バイキング



5月4日、リトリートたくらで、山菜バイキングが開かれ、採れたて山菜の風味を味わおうと町内外から200人が訪れました。木の芽和えやミョウガの甘酢和え、わらびの生姜和えなどのほか煮物やおひたしがテーブルに並べられると、お客らは「待つてました」と手を伸ばし、いろんな味の山菜に舌鼓を打ち大満足。揚げたてのタラノメやコゴミ、ウド、フキ、ユキノシタなどの天ぷらが振舞われると、あっという間になくなり、料理を待つ人でいっぱいでした。

また、古木集落の赤谷川（通称アカタン）に残る砂防堰堤の見学も希望者を対象に行われました。今から約110年前、豪雨により発生した大規模な土砂災害を防止するためにつくられた2基の土造りと7基の石積みは、今でも自然景観に調和し遺されています。見学者らは、「先人たちの遺した堰堤には感服。我々も自然環境とのつき合い方を学び、知識を取り戻したい」と話していました。



思いっきりあそんだよ!

ウォーターランド南条まつり



パフォーマンスやアマチュアライブ、南条中学校和太鼓クラブらが演奏を披露。訪れた人たちは、「家族で楽しい一日を過ごしました。来年もまた来たいですね」と満喫した様子で話していました。

子どもの日恒例のウォーターランド南条まつりが5月5日開かれ、町内外から約1000人が訪れ賑わいました。

子どもの日とあって、温水プールでは高校生以下の入館は無料。いろいろな浮き具やビーチボールを使って遊ぶ親子や、ウォータースライダーを勢いよく滑る子どもたちは歓声と水しぶきをあげて楽しんでいました。

また屋外では、模擬店のほか500食のカレー汁が振舞われました。午後はテラスを利用した屋外ステージでヨサコイ

現地を見て廻りました 集落要望現地調査

町では、5月9日から23日の間、集落から要望のあった事項について、現地調査を行いました。

これは集落からの要望事項について詳しく知り、対応を考えるため、町長をはじめ担当課長等が現地に出向き、区長さんから詳しい説明を受けるものです。

現地調査は、9日間をかけて、約360箇所を見て歩きました。

要望事項は、街灯や融雪装置、カーブミラーの設置、道路の拡幅や修繕、用水路や排水路の改修、土砂の撤去などさまざまな内容がありました。

この現地調査の後、町では、現状や必要性、予算面などを十分に検討し、回答する予定です。



▲道路拡幅の要望がある大道踏切



▲大型U字溝の改良工事の要望がある湯尾地区圃場排水路



▲ガードレール設置の要望がある河内地区国道305号

活動の輪をつなげて 南越前町男女ネットワーク設立総会

5月18日、南条地区公民館でかねてから設立準備を進めていた南越前町男女ネットワークの設立総会が開かれました。総会には、町日赤奉仕団や民生・児童委員連絡協議会、婦人福祉協議会、連合婦人会、JA越前たけふ女性部など14団体から約200名が出席。設立にあたり、設立準備委員会代表の立石和子さん（中小屋）が「先進地視察なども行いながら、6回にわたる準備委員会を進めてきた結果、こうして男女ネットワークとして設立できたことをとても喜んでいきます」とこれまでの経過とお礼が述べられました。

会則や事業計画、予算が決められたほか、初代会長に今村ゆみ子氏（脇本）、副会長に小谷富美枝氏（今庄）、寺坂きみ子氏（糠）などの役員が選出されました。今村会長は「それぞれの小さい団体の輪が集まって、大きな輪になるよう活動していきたい」とあいさつ。今後、各団体・グループが、お互いの活動を尊重しながら連携し、明るいまちづくりと豊かな男女共同参画社会の形成を目指して活動していきます。

